





























令和8年度 通信教育実施計画

対象教科・科目	生物基礎【理科】	単位数	2
スクーリング回数	10	レポート枚数	6
単位認定試験受験資格	レポートを全て合格し、スクーリング授業を全て出席する		
使用教科書	改訂版 高等学校生物基礎（啓林館）		

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。</li> <li>生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</li> </ul>										
学習内容	単元	概要									
1	オリエンテーション (レポートNo. 1) 「多様性と共通性」・「生命活動を支える代謝」・「生体内のエネルギー変換」	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業の受け方、授業のながれ。</li> <li>生物の進化の過程を推測できる。</li> <li>生命活動には代謝が必要で、酵素反応によりエネルギーを得ることが理解できる。</li> <li>生体内のエネルギーは ATP と呼ばれる化学物質により変換していることが理解できる。</li> </ul>									
2	(レポートNo. 1) 「生命活動を支える代謝」・「生体内のエネルギー変換」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動には代謝が必要で、酵素反応によりエネルギーを得ることが理解できる。</li> <li>生体内のエネルギーは ATP と呼ばれる化学物質により変換していることが理解できる。</li> </ul>									
3	(レポートNo. 2) 「DNA の構造」・「DNA とゲノム」・「科学史」	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNA の構造は、2 重らせん構造であると説明できる。</li> <li>DNA は遺伝情報であり、ゲノムは遺伝子群であることを説明できる。</li> <li>生命化学において、さまざまな研究者により発見されていることを理解できる。</li> </ul>									
4	(レポートNo. 3) 「細胞分裂における DNA の複製と分配」	<ul style="list-style-type: none"> <li>細胞分裂のとき、分裂期と間期に分かれていることを知る。</li> </ul>									
5	(レポートNo. 3) 「DNA とタンパク質合成」・「遺伝子の発現と生命現象」	<ul style="list-style-type: none"> <li>DNA をもとにしてタンパク質が合成されることを理解する。</li> <li>DNA の一部分がしかるときに、スイッチがオンオフすることにより、タンパク質が合成され、生命現象になることを遺伝子の発現とする。</li> </ul>									
6	(レポートNo. 4) 「体内環境と体液の循環」・「恒常性と血液」	<ul style="list-style-type: none"> <li>体内環境は体液により、一定にする働きがあることを学ぶ。</li> <li>体液には血液、リンパ液、組織液に分けられ、恒常性をたもつ液体として知られていることを学ぶ。</li> </ul>									
7	(レポートNo. 4) 「体内環境と調節する器官(肝臓・腎臓)」	<ul style="list-style-type: none"> <li>肝臓にさまざまな機能があり、体内環境を調節することを学ぶ、腎臓は毒素の強いアンモニアを毒素のすくない尿素に変える働きがあることを学ぶ。</li> </ul>									
8	(レポートNo. 5) 「自律神経系による調節」・「ホルモンによる調節」・「免疫のシステム」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自律神経により、体内の調節をおこなっていることを理解する。</li> <li>ホルモンは内分泌腺から分泌され、標的器官にのみ働くことを知る。</li> <li>免疫には自然免疫と獲得免疫にあることを理解する。</li> </ul>									
9	(レポートNo. 6) 「生態系」・「地球上の植生分布」	<ul style="list-style-type: none"> <li>生態系とは自然界のことを指す言葉であることを知る。</li> <li>地球には降水量や気温により、複数の植生があることを理解する。</li> </ul>									
10	(レポートNo. 6) 「さまざまなバイオーム」・「日本の絶滅危惧種」	<ul style="list-style-type: none"> <li>年平均気温や年降水量により、バイオームは変化していることを学習する。</li> <li>まだまだ絶滅危惧種が増えていることを知る。</li> </ul>									
学習評価	<p>以下の項目を総合的に評価し、5段階の評定と3段階の観点別評価で表す。</p> <table border="0"> <tr> <td>【 項目 】</td> <td>【 評価方法 】</td> </tr> <tr> <td>・知識・技能 ……………</td> <td>単位認定試験</td> </tr> <tr> <td>・思考・判断・表現 ……………</td> <td>単位認定試験</td> </tr> <tr> <td>・主体的に取り組む態度 ……………</td> <td>レポート提出状況、スクーリング出席状況</td> </tr> </table> <p>レポートでは、課題に対し、適切な内容が記載されていること。60点以上を合格とする。 単位修得試験では、学習内容に合わせて問題を出題する。要求されている的確な答えを解答できていること。</p>			【 項目 】	【 評価方法 】	・知識・技能 ……………	単位認定試験	・思考・判断・表現 ……………	単位認定試験	・主体的に取り組む態度 ……………	レポート提出状況、スクーリング出席状況
【 項目 】	【 評価方法 】										
・知識・技能 ……………	単位認定試験										
・思考・判断・表現 ……………	単位認定試験										
・主体的に取り組む態度 ……………	レポート提出状況、スクーリング出席状況										





令和8年度 通信教育実施計画

対象教科・科目	体育3【保健体育】	単位数	2
スクーリング回数	12	レポート枚数	2
単位認定試験受験資格	レポートを全て合格し、スクーリング授業を全て出席する		
使用教科書	教科書名（出版社）		

学習目標	自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、問題の解決に繋げる力を身に付ける。	
学習内容	単元	概要
1	効果的な動きのメカニズム 【動きの開始と持続】 【動きのコントロール】	・体の動きはどのようなしくみで開始され、持続していくのか学習する。 ・よい動きを支える調整力について例をあげて学習する。
2	体カトレーニング 【体カトレーニングを支える基礎理論】 【体カトレーニングの進め方】	・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を学習する。
3	体カトレーニング 【筋カトレーニング】 【調整力・柔軟性のトレーニング】	・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的な方法を学習する。
4	体育実技①	体育実技①
5	体育実技②	体育実技②
6	体育実技③	体育実技③
7	運動やスポーツでの安全の確保 【運動・スポーツで起こるけがや事故】 【運動・スポーツでのけがや事故の予防】	・スポーツ外傷とスポーツ障害の違いを学習する。 ・スポーツ活動中に起きる重大な事故をあげ、その発生原因と予防方法を学習する。
8	2単元 特設	・運動・スポーツと脳を学習する。 ・動きと力を学習する。 ・スポーツによるさまざまなリスクを学習する。 ・スポーツ外傷・障害とその原因を学習する。
9	生涯スポーツの見方・考え方 【社会の変化とスポーツの役割】	・社会の変化にともなってスポーツの役割がどのように変化したのかを学習する。
10	生涯スポーツの見方・考え方 【ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方】	・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を学習する。
11	ライフスタイルに応じたスポーツ 【いろいろなスポーツライフスタイル】 【豊かなスポーツライフの設計】	・「する」スポーツライフスタイルについて例をあげ学習する。 ・現在の自分のスポーツライフの諸条件を整理し、今後の豊かな設計のための諸条件や工夫のしかたの例を学習する。
12	テスト対策	テスト対策
学習評価	<p>以下の項目を総合的に評価し、5段階の評定と3段階の観点別評価で表す。</p> <p>【項目】 【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能 …………… 単位認定試験</li> <li>・思考・判断・表現 …………… 単位認定試験</li> <li>・主体的に取り組む態度 …………… レポート提出状況、スクーリング出席状況</li> </ul> <p>レポートでは、課題に対し、適切な内容が記載されていること。60点以上を合格とする。</p> <p>単位修得試験では、学習内容に合わせて問題を出題する。要求されている的確な答えを解答できていること。</p>	





令和8年度 通信教育実施計画

対象教科・科目	家庭基礎【家庭】	単位数	2
スクーリング回数	6	レポート枚数	4
単位認定試験受験資格	レポートを全て合格し、スクーリング授業を全て出席する		
使用教科書	家庭基礎 つながる暮らし 共に創る未来【新訂版】		

学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。	
学習内容	単元	概要
1	青年期と家族 自分の将来を見通そう	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちはライフステージにおける青年期にいることに気づく。</li> <li>各ライフステージの特徴と課題を理解する。</li> <li>これから起こる人生のライフイベントを想定し、目標をたて、そのための意思決定について考える。</li> </ul>
2	保育 子どもの成長を見つめる	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの心身の特徴や発達、遊びの意義を知り、子どもにとって良い環境について考えて自分なりの意見をもつ。</li> <li>社会全体で子育てを支援し、子育ての環境整備を行うことの重要性を理解する。</li> <li>子どもの権利や福祉について理解する。</li> </ul>
3	高齢期 高齢化する日本を生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>人生の一時期として高齢期を捉え、自分の将来像としての高齢期について考える。</li> <li>高齢期の心身の特徴を知り、高齢期に多い疾病について理解する。</li> <li>高齢者の生活や、社会的な支援のあり方について考える。</li> </ul>
4	食生活 「食べる」ということ	<ul style="list-style-type: none"> <li>食事と健康とのかかわりや、人の一生における食事の役割について理解する。</li> <li>日常用いられる食品に含まれる栄養素の種類や機能、おまな食品の特徴について理解する。</li> </ul>
5	衣生活 衣服のはたらき	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の生活と衣服のかかわり、衣服のおもな機能について理解し、生活に生かすことができる。</li> <li>自分自身の衣生活の分析を通して、衣服や日常の衣生活に関心をもつことができるようになる。</li> </ul>
6	住生活 住まいの課題と未来の暮らし	<ul style="list-style-type: none"> <li>人と住まいとのかかわりや、住まいの機能について理解する。</li> <li>地震などの災害に備えたり、家庭内事故の要因を理解したりするなど、安全な住居についての基礎知識を身につける。</li> </ul>
学習評価	<p>以下の項目を総合的に評価し、5段階の評定と3段階の観点別評価で表す。</p> <p>【項目】 【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>知識・技能 …………… 単位認定試験</li> <li>思考・判断・表現 …………… 単位認定試験</li> <li>主体的に取り組む態度 …………… レポート提出状況、スクーリング出席状況</li> </ul> <p>レポートでは、課題に対し、適切な内容が記載されていること。60点以上を合格とする。</p> <p>単位修得試験では、学習内容に合わせて問題を出题する。要求されている的確な答えを解答できていること。</p>	







令和8年度 通信教育実施計画

対象教科・科目	産業社会と人間 I【学校設定】	単位数	2
スクーリング回数	6	レポート枚数	4
単位認定試験受験資格	レポートを全て合格し、スクーリング授業を全て出席する		
使用教科書	実践 産業社会と人間（実教出版）		

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会人としての正しい職業観を身につけ、働くという事の意味を理解できるようになる。</li> <li>・自分の特性を知り、自分に向いている職業、なりたい職業を決める事ができる。</li> <li>・なりたい職業にたどりつくための進路先を決める事ができる。</li> <li>・進路先にたどりつくために受けるべき授業を選択する事ができる。</li> <li>・職業生活を中心とした自分のライフプランを描くことができる。</li> <li>・自分の意見や調べた内容などを適切な手段で発表することができる。</li> </ul>	
学習内容	単元	概要
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>総合学科で学ぶということ</li> <li>高校生活の過ごし方</li> <li>高校での学習</li> </ul>	「産業社会と人間」では、「自分を知る」「社会を知る」「仕事を知る」ことを通して、自分にとっての幸せとは何か、どのように生きていきたいか、働くことを通してどのように社会に貢献していきたいか、生涯学び続けたいことは何かなどを探していくことを知る。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集 1 コミュニケーションの基本</li> <li>・実践スキル 1 自分のトリセツをつかってみよう</li> <li>・実践スキル 2 講話の聞き方</li> <li>・わたしが生活する社会の課題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の資質・適性を理解し、進路を真剣に考えることができる。</li> <li>・自己の希望進路や関心に基づいて社会の特徴をとらえ、課題を発見することができる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題を考える</li> <li>・ひろがる世界と多様性</li> </ul>	・社会の変化や諸課題を受け止め、その中で自己実現のあり方を積極的に考えことができる。
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報化とこれからの社会</li> <li>・社会の課題と進路</li> </ul>	・産業社会の変化を理解し、その中で自分の進路希望を考えることができる。
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特集 2 仕事と必要な資格について調べよう</li> <li>・特集 3 資格や検定に挑戦しよう</li> <li>・特集 4 高校卒業後に進学できる学校について調べよう</li> <li>・特集 5 校外学習に参加しよう 1</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分はどのようなことを重視しながら職業を選ぶのか考えることができる。</li> <li>・自分が希望する職業に対する理解と認識。</li> <li>・職業・学問分野に対して強い興味・関心を持ち、適切な進路選択をすることができる。</li> </ul>
6	レポート範囲 すべて	テスト対策
学習評価	<p>以下の項目を総合的に評価し、5段階の評定と3段階の観点別評価で表す。</p> <p>【 項目 】 【 評価方法 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識・技能 …………… 単位認定試験</li> <li>・思考・判断・表現 …………… 単位認定試験</li> <li>・主体的に取り組む態度 …………… レポート提出状況、スクーリング出席状況</li> </ul> <p>レポートでは、課題に対し、適切な内容が記載されていること。60点以上を合格とする。</p> <p>単位修得試験では、学習内容に合わせて問題を出題する。要求されている的確な答えを解答できていること。</p>	



令和 8 年度 通信教育実施計画

対象教科・科目	総合的な探究の時間 A【総合】	単位数	3
スクーリング回数	5	レポート枚数	3
単位認定試験受験資格	レポートを全て合格し、スクーリング授業を全て出席する		
使用教科書	—		

学習目標	自己の在り方生き方と関わらせながら課題を発見し、情報の収集・整理・分析を通して課題の解決に取り組むとともに、探究的な学習を通して主体的に学び続ける態度を育成する。	
学習内容	単元	概要
1	生成 AI とは①	生成 AI の仕組みや特徴について学び、AI が社会でどのように活用されているかを理解する。
2	生成 AI とは②	生成 AI を利用する際の注意点やネットリテラシーについて学び、適切な情報の扱い方を理解する。
3	ファストファッションと環境	ファストファッションが環境に与える影響について学び、サステナブルファッションの考え方を理解する
4	食品ロス①	日本の食料自給率や食品ロスの現状について学び、社会的な課題として理解する。
5	食品ロス②	食品ロスを減らすための方法について考え、日常生活でできる取り組みを考察する。
学習評価	<p>授業への出席状況およびレポートの提出内容により総合的に評価する。授業に出席し、課題レポートがすべて合格した場合に履修を認定する。</p> <p><b>【観点別評価の基準】</b></p> <p>知識・技能・・・課題の発見と解決に必要な知識や技能を身につけている。</p> <p>思考・判断・表現・・・課題について情報を収集し、整理・分析しながら自分の考えをまとめ、適切に表現している。</p> <p>主体的に学習に取り組む態度・・・課題に対して主体的に取り組み、探究的に学習しようとしている。</p>	